

しんぶん **大村洋子**
ヨーコ・ヨスカ・ストーリー♪

2018年10月4日発行 149号
三浦半島地区委員会 公郷2-21-1
046-851-1123
大村・携帯 090-1107-0498
ブログ [大村洋子](#) →検索



横須賀がPokémon GOの舞台に。市長の掲げる「音楽・スポーツ・エンターテインメント都市」が一步前進?!

前回に続き、横子さんとの会話形式でお伝えします

横子「横須賀のポケモン GO は日時、場所、参加人数を限定して、安全に行うために事前応募というかたちをとったのよね。そのことで、何か問題があったの?」



大村「事前応募にしたら、1人でいくつも参加券(権)に当選して、それをネットオークションで転売する不正行為をはたらく人が出てきたのです。」



横子「えっ? 転売って、それで儲けようってこと?」

大村「そうです。私がネット上で見たのは、ペア券で 99,800 円でした。本来、自分のアカウントで1回しか応募できないルールなのです。それをいくつも無料で手に入れて、不正転売しているのです。」



横子「まじめに応募して落選した人から見たら、怒り心頭だね。」

大村「ネットの中では、そういう書き込みがあふれていました。それと、横須賀市に対する不満も。驚いたことに一般質問の中で市長は『どんなイベントでも不正転売はある』と言い放ったのです。」



横子「すいぶん、軽はずみな答弁をしているのね。不正転売を認めちゃダメでしょ。」

大村「全くです。今回のイベントでは協賛金というかたちでポケモン GO を開発・運営しているナイアンティック社と株式会社ポケモンから 3400 万円出ています。そのうち 811 万 7,060 円で予約サイトの委託を行っています。この委託サイトが不正転売を防ぎきることができなかったわけで、問題です。」



横子「それで、結局、大村議員は市長に何を認めさせたかったの?」

大村「はい、私は上地市長が横須賀を『音楽・スポーツ・エンターテインメント都市』にしたいと言うなら、今回のようなリスクを徹底的に総括するべきだと伝えたかったのです。」



横子「確かに、不正転売を必要悪と捉えてるようじゃ、まずいわね。」

大村「『官』と『民』の協同はエキサイティングなことですけど、ゆえにダメージもあると思うのです。そこを想定しないで、楽しいから良いと単純に進めることに私は警鐘を鳴らしたいと思います。」

横子「なるほどね。」

大村「ポケモン GO は 2016 年 7 月からスタートして、約 2 年のうちに日本では 5 人が亡くなっています。」



横子「車を運転しながらスマホを操作していて、歩行者をひいてしまった事件があったわ。」

大村「こんなゲームは発売中止にしろと言っている人もいます。」



横子「そういえば、歩きスマホで知らぬ間に原発の敷地に入ってしまった事件もあったわね。」

大村「ですから、横須賀がポケモン GO の遊びの舞台になると聞いたとき正直、心配が 1 番でした。」

横子「大きなトラブルがなくて、本当に良かったわ。」



大村「私も同感です。市長は計画したり考えたりする前に自分は行動するタイプだと言っています。私はスピード感より慎重さが首長には必要だと思います。うるさがられようと今後もズバリ指摘をしていきます。」

おわり

米海軍基地内の大麻問題とは

1年前の9月下旬、米国籍の男子大学生が基地内で5人の男子高校生に大麻を譲り渡した事件です。

6人は書類送検され、国外退去となっています。大学生は「10人くらいに渡した」と言っていました。



6月議会では薬物、9月議会では大麻。ドラッグ問題が基地内では絶えません。「米軍だろうが、日本人だろうが悪いことは悪い。」市長の答弁は当たり前のことを繰り返すのみです。基地内のキニックハイスクールと横須賀総合高校の交流を一時停止するべきと指摘しましたが、教育長は受け入れませんでした。私は軽視はできないと考えます。



うわまち病院の建て替え問題

Q うわまち病院の建て替えが話題になっていますが、建て替えることはもう、決定ですか？

A 建て替えの方針が出ています。本館と外来棟は築50年以上経過して老朽化が進んでいます。

Q どのように決まったのですか？

A 「市立病院運営委員会」からの答申として出されました。

Q 建て替えは移転ですか？現地ですか？

A 横須賀市は建て替えは移転だと言っています。



Q なぜ、移転建て替えなのですか？

A 原則9m以上の幅の進入路が必要なのに現状は5.5mで開発行為の同意が困難。

もう1点は敷地内の一部が土砂災害防止法のレッドゾーンに指定される可能性があり、防災対策を施すのに相当の時間を要するため。以上2点が市の示す理由です。

Q 日本共産党市議団はどう考えているのですか？

A 私たちは建て替え場所の議論の前に、地元のうわまち地域の方々への説明が全くない中で市長がいきなり8月21日に記者会見をしたことは間違っていたと一般質問でも表明しています。なにより、仕切り直して地元への丁寧で真摯な説明から行うのがスジと考えます。

Q 今後どうなってしまうのでしょうか。

A 先が見えません。地元の思いを軽視した代償は大きいと思います。

スピード感を重視すると言ってはばからない市長の姿勢が裏目に出た感を覚えます。私たちはうわまち地元地域や広範囲の市民のみなさんへの市の丁寧で真摯な説明を促すために力を尽くします。同時に市長の姿勢に対しても改めるよう働きかけていきます。